

慶應志木会会報

慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)

2017  vol. 37



皆でいこう！ イベントのお知らせ
歩こう会/志木会マスターズ/ホームカミングデー ほか

母校の「今」が分かる
体育部會・文化部会 NOW / クラブ戦績

会員の「今」が分かる
同期会&OB 会だより

大館名誉教諭・追悼再録
「志木で過ごした三十年」

卒業40年寄稿(27期)
「卒業40周年」



会長ご挨拶

慶應志木会
会長 松下 賢次



志木会会員の皆様お元気でご活躍の事と思います。小生も64歳となりました。今年も、プロ野球・ゴルフの中継を担当しています。また昨年末から総合格闘技「パンクラス」の生中継を新たに加えました。60を過ぎて新しいことにチャレンジできますことは、本当に幸せなことだと思います。スポーツ中継は従来の「ラジオ・テレビ」が「ラジオ・地上波・CS・BS」の時代となり、今や「インターネット」の時代がやってきました。実況するアナウンサーには「それぞれの喋り」が求められ、今までにも増して「対応力」が問われるようになりました。

常に「これで良いのか」と自問自答を繰り返し「こうしたらどうなるのか」を探り続けることが、新たな「発想」を生むのだと思います。

ゴルフの青木功さんは、「その昔、5番アイアン一本でラウンドした。フルバックで7000Y近くあったが、38・35の73でホールアウトできた。フェイスを思い切り開いてボールを上げたり、スピンをかけたりしてピンに寄せていった。」青木さんは3アイアンでバンカーからボールを出す練習もよくしていました。一本のクラブを自由に操ることでどんどんと新しい「発想」が生まれたのでしょうか。

最近「想定外」という言い訳を良く聞きますよね。人間の器量は「想定外」に直面した時に、本当の力を発揮出来る事なのでしょう。「想定外」と思ったら負け。「チャンス」と思える者が勝者になるのでしょうかね。

来年の11月3日には、5年ぶりの志木会大会が行われます。皆様の素晴らしい「笑顔」を拝見することを楽しみにしています。

志木会の皆様は豊かな発想と努力で、あらゆる分野で成功を収め、その分野のリーダーとして活躍されています。志木会は今年度も279名のフレッシュなメンバーを加えました。志木会は今年も新たな発想で前進してまいります。

「志木会奨学金」の募集は続きます

会員各位のご協力によりスタートいたしました「慶應志木会奨学基金」が平成21年秋から生徒への給費を開始いたしました。ご協力をいただきました皆様に感謝申し上げます。

しかしながら、現在の基金額は運用益を確保し、安定した給費を継続できる十分な額とは言えません。長期的に安定した給費の継続と給費対象者・給費額の拡大を図るために、志木会では寄付金の募集を継続しておりますので、是非ともご協力を賜わりたく、心からお願い申し上げます。

なお、「慶應志木会奨学基金」に用途を指定した寄付となるため、用途指定をした寄付申込書が必要になります。寄付に対する減免措置については従前どおり慶應義塾基金室から領収書並びに所得税、法人税の寄付金控除証明書が送付されます。

【募金要綱】

慶應志木会奨学基金

1. 募金単位 1口 一万円
2. 払込方法 従来の口座振り込みから塾の基金室へ変更になりました。
詳細は慶應志木会事務局までご連絡下さい。

TEL 048-471-1959 メール info@keio-shikikai.jp

名誉会長ご挨拶



慶應義塾志木高等学校校長
慶應志木会名誉会長

高橋 美樹

志木会の皆様には、常日頃より、様々な形で本校をご支援いただき、ありがとうございます。慶應義塾志木高等学校を代表して、心より御礼申し上げます。とくに、昨年度から、従来の「慶應志木会奨学金」「慶應志木会賞」に加え、「国際交流支援資金」を創設いただきましたこと、たいへんありがたく存じます。今後ともよろしく願い申し上げます。

わたしが校長に就任したのは昨年10月ですが、その後、連合三田会、収穫祭、慶應医志会、志木会幹事新年会、志木の森20周年式典（清家塾長（当時）、長谷山常任理事（当時）にもご臨席賜りました）など、様々な場で、志木高OBの皆様と交流させていただきました。その度に、志木高がこれまで、数多くの有為な人材を輩出してきたことを確認させていただきました。これからも伝統を守りつつ、志木高としての進化を続けていきたいと思っております。

ご存知の方も多いと思いますが、清家篤前塾長の任期満了（5月27日）に伴い、長谷山彰現塾長（前常任理事、主管は教育・一貫教育校、文学部）が塾長に選任されました（新塾長の下では、高橋郁夫前校長が財務担当の常任理事を務められます）。長谷山塾長は、その所信表明において一貫教育校の役割にも触れ「正課と課外のバランスのとれた教育で、伸びやかな人材を育成すること」、「柔軟で吸収力の高い中等教育段階で海外学習を経験すること」などの重要性を指摘されています。上に記した、志木会の皆様のご支援が、このような教育に役立っていることは言うまでもありません。

去る3月24日、本校では、清家塾長（当時）ご臨席のもと卒業式が行われ、第67期生279名が本校を巣立っていきました。4月6日には、長谷山常任理事（当時）ご臨席のもと入学式が行われ、近未来の志木会メンバー255名が加わりました。また、4月20日には、本校の教員会議にて、75周年事業に向けて準備を始めることが決定されました。

慶應義塾志木高等学校は2023年に開設75周年を迎えます。また、開設80周年の2028年には、現行の校舎が法定耐用年数（減価償却）60年を迎えます。この点について、長谷山塾長の所信表明では「一貫教育校では、単に老朽化した施設の更新を図るだけではなく、時代の教育内容について議論を尽くし、少人数教育、課外教育など多様な学びに適した教室のデザイン、ITインフラの整備など総合的に計画を進めてゆくことが必要」とされています。記念事業にせよ、校舎建て替えにせよ、これらを実現するために、教職員、OB、在校生が今まで以上に議論し、協力することが必要なことは言うまでもありません。志木会の皆様には、引き続き、ご支援・ご協力のほど、何卒よろしく願いいたします。

末筆ながら、会員各位のご健勝と貴会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



新任主事ご挨拶

慶應義塾志木高等学校主事
慶應志木会副会長

宮橋 裕司

本年4月より主事を務めている宮橋でございます。志木会の皆様におかれましては、常日頃より本校の教育に高い関心を寄せられ、物心両面において支えて頂いていることに改めまして心より御礼申し上げます。

本校では節目を迎える事業が続きます。3月19日、本校の貴重な教育的財産である志木の森が二十周年を迎えました。慶應義塾より清家塾長（当時）をはじめとする来賓の方々をお迎えし、記念式典を挙行。植樹祭や記念フォーラムなどと併せ、盛況のうちに終えることができました。そして平成35（2023）年、本校は開設75周年を迎えます。4月の教員会議においてこの事業成功に向けてキックオフが承認され、学校全体でこの周年事業準備へ取り組む御膳立てが整いました。かねてよりPTAの皆様には「多目的棟建設資金」としてご寄付を頂いていることから、これが中核になることは間違いありませんが、その器は本校がどのような教育を目指しているのかを体現するものになります。学校施設全体の将来像をきちんと見据えた中で多目的棟の位置づけを考えていく所存です。また、これから建設委員会、募金委員会が順次立ち上がっていくこととなりますが、志木会の皆様にはこれまで以上にそのお力をお借りすることになろうかと思えます。

75周年事業を成功に導くためにも、今後とも志木会の皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

志木高教職員の動向

教 員

退職：非常勤講師8名

新任：専任（有期） 鈴木恵美君（国語科）、日吉高専任 吉村創君（総合科目ドイツ語）、
非常勤講師7名

職 員

退職：カウンセラー1名、用務員1名、嘱託（事務）1名、派遣（化学実験補助）1名、
派遣（志木会）1名、

新任：カウンセラー1名、用務員1名、嘱託（事務）1名、
派遣（化学実験補助）2名、派遣（志木会）1名、臨時職員（事務・図書館）1名

計 報

大館清次君 名誉教諭（生物・理科） 謹んでご冥福をお祈りいたします



「枇杷の会句会」で 友達の輪を広げませんか！

枇杷の会幹事 15期
深瀬 啓司

俳句は難しいとの偏見も、夏井いつきさんの「プレバト」(全国TBS系TV)の辛口俳句道場等のお蔭で無くなってきたように思えます。枇杷の会も平成15年6月に志木高で旗揚げしてから、今年4月の帆船明治丸界限句会で43回目になります。第1回句会からこれまでご指導頂いた、本井英元教諭に感謝します。

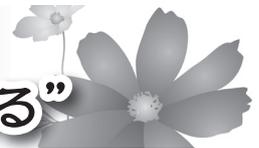
現在、70代から30代までの志木高のOBが頭の体操と遊びを楽しんでいます。毎回吟行する場所で2時間ほど自然と向き合い、目で見えて心で感じた景色に、言葉を探して句にします。この静かな時間は日頃の生活にない独特の体験です。句会は投句、清記、選句、披講そして最後に本井元教諭から選句と講評を頂きます。句会が終われば懇談です。日頃使わない知的エネルギーを出し切った後のビールは最高です。会のお陰で友人が増えました、又首都圏に自然と触れう場所が随分あるのだと言う事も分かりました。

本井元教諭は、無駄があってもいいから、素直にリズム良く作るように言われます。何も難しいことはありません、現に私のように特に勉強したこともない者でもインチキ俳句で大きな顔して参加しています。

これをご縁に枇杷の会を覗いてみませんか。一同お待ちしております。
次回は10月28日(土)紅葉盛りの洗足池公園を予定しています。

里芋やものぐさ太郎掘り出さる 一舟

志木歩こう会 “目黒から三田へ 歴史と自然に触れる”



恒例の「志木歩こう会」を今年度は下記の要領で実施致します。志木会会員各位の参加をお待ちしております。ご家族の参加も歓迎です。

開催日時：平成29年10月7日(土) 午前10時から午後4時頃 ※小雨決行

コース：東急目黒線武蔵小山駅 集合 午前10時
林試の森公園 ⇒ 目黒不動尊 ⇒ 大円寺五百羅漢 ⇒ 昼食 ⇒ 自然教育園 ⇒ 畠山記念館 ⇒ 覚林寺(清正公) ⇒ 慶應義塾三田キャンパス(解散)

※コースが変更になる場合がございます。

参加申込：9月22日までに志木会事務局あてメールにて(参加募集人数：20名程度先着順)

費用：昼食代3,000円くらい

幹事：35期 越知靖弘・大澤宏樹

昨年は、「田端から本郷、湯島の名所」を訪ねました。途中の豪雨もなんのその、皆さんと楽しくゴールしました。

最年長馬場先輩(10期)の記録によると、H27年 日本橋～築地・越中島が23,272歩、H28 田端～本郷・湯島が23,628歩だったそうです。さて、今年は何歩でしょうか？



神楽坂翔山亭本郷店にて

慶應志木会会員各位

慶應志木会
会長 松下 賢次

—— 会費納入のお願いについて ——

会員の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

同窓会の発足以来、種々の活動を通じ会の基盤作りに邁進して参りましたが、お陰さまで会の運営も順調に推移いたしております。これも偏に会員の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝いたしております。

毎度のお願いになりまして大変恐縮で御座いますが、今後の慶應志木会の安定的運営かつ一段の充実発展のために **会費納入** のご協力をお願い申し上げます。

会費につきましては発足時より5年を一区切りとして大学を卒業された会員諸兄から年会費二千円を一括して「**5年分一万円**」のご協力をお願いいたしております。

会費の値上げも検討いたしました。第6期分につきましても厳しい経済情勢下ではありますが従来同様一万円にてお願いさせていただくことになりました。

納入方法につきましてはお手数ですが同封の振込用紙をご使用の上、お近くの郵便局よりご送金下さいますようお願い申し上げます。

会員の皆様におかれましては引き続きご理解の上、ご協力賜りますよう心よりお願い申し上げます。なお、分割納入を希望される方は振込用紙の通信欄にその旨記載の上、今年度分の二千円を納入下さい。

記

振込金額 10,000円
取扱金融機関 全国ゆうちょ銀行
払込期日 早期振込にご協力下さい

<問合せ先>

* 志木会事務局 Tel 048-471-1959 (志木高内)

Fax 048-471-1974

志木高・志木会行事日程

	慶應志木会		志木高等学校	
	H29年度予定	H28年度実績	H29年度	
4月	4/29* 枇杷の会 (帆船明治丸から富岡神宮界限)		4/6 4/7 4/13	入学式(10:00) ガイダンス 健康診断
5月	5/20* 校内自然観察会	5/13 幹事総会 5/14* 校内自然観察会	5/9~11 5/24 5/27	1年生総合学習研修旅行 運動会 慶早戦
6月	6/12 幹事総会	6/4 枇杷の会 (池之端旧岩崎邸近辺) 6/4 5高JKカップ	6/23~28 6/29~	第一回 定期試験 クラスマッチ
7月	会報発行	7/15 会報発行	~7/1 7/7 7/18~	クラスマッチ 第122回志木演説会 夏季休業
8月				
9月	9/16* 校内自然観察会	9/24* 校内自然観察会	~9/6	夏季休業
10月	10/7 歩こう会 “目黒から三田へ歴史と自然に触れる” 10/28 枇杷の会 (洗足池公園) 10/28 ホームカミングデー (収穫祭) (17期&42期:志木高)	10/8 歩こう会 “田端から本郷、湯島までの名所を訪ねよう” 10/29 ホームカミングデー (収穫祭) (16期&41期:志木高)	10/2~5 10/28~29	2年研修旅行・3年見学旅行 1年救命講習 収穫祭
11月	11/3 第4回 志木マスターズ 東千葉カントリークラブ	11/3 第3回 志木マスターズ 東千葉カントリークラブ	11/3 11/21~27 11/28~30	学校説明会 第二回 定期試験 クラスマッチ
12月		12/3 枇杷の会(鎌倉界限)	12/18 12/20~	マラソン大会 第123回志木演説会 冬季休業
1月			~1/6 1/11~15	冬季休業 自己推薦入試 第三回 定期試験 (3年)
2月	幹事新年会	2/28 幹事新年会	2/22~26	一般・帰国入試 第三回 定期試験 (1.2年)
3月	3/24 卒業式 卒業40周年招待 (28期)	3/24 卒業式 卒業40周年招待 (27期)	3/24	卒業式(10:00)

* 志木高校内自然観察会は宮橋教諭(理科)を中心に開催されます(卒業生参加可)

* 枇杷の会は本井英元教諭(国語)のご指導のもとに開催されます

「慶應志木会賞」について

慶應志木会

慶應志木会賞は、クラブおよびその他の活動において、特に功績のあった団体または個人の業績を称え、もって学校生活の向上に資することを目的として平成19年3月の卒業式に初めて贈呈されました。体育、文化、一般の3部門において教員からの推薦をもとに選考委員会で決定し、本年度で11回目を迎えます。

本年度は、5団体と3名の生徒を表彰いたします。

1. **水泳部** (4名) 推薦者：水泳部部长 樋口 裕輔 教諭
平成28年関東高等学校水泳競技大会出場 他
2. **鉄道研究会** (3名) 推薦者：鉄道研究会部長 石島 慎一郎 教諭
鉄道模型コンテスト2016 第8回 全国高等学校鉄道模型コンテスト
モジュール部門において 理事長特別賞受賞
3. **バレーボール部** (2名) 推薦者：バレーボール部部长 井之浦 茉里 教諭
有賀 新 君、大森 脩平 君 平成28年度 埼玉県西部支部優秀選手表彰
4. **器楽部** (12名) 推薦者：器楽部部长 小池 陽 教諭
第16回東日本学校吹奏楽大会金賞受賞
第22回 日本管楽合奏コンテスト全国大会・高等学校A部門最優秀賞受賞
5. **端艇部** (9名) 推薦者端艇部部长 池田 卓也 教諭
平成28年 第71回 国民体育大会に埼玉県代表として出場他 (5年連続受賞)
6. **佐々木 泰河 君** 推薦者：宮崎 倫彰 教諭
第40回小泉信三賞全国高校生小論文コンテスト佳作
日本倫理・哲学グランプリ (2016) 銀賞
7. **高綱 馨 君** 推薦者：森山 徳之 教諭
グローバルサイエンスキャンパス全国受講生研究発表会優秀賞
8. **山田 隆斗 君** 推薦者：森山 徳之 教諭
蒲田 みどり 数学科非常勤講師
第14回「和算に挑戦」上級の部優秀賞

以上

體育部會NOW 第17回

サッカー部 部長 川原 行人

日本サッカー協会（JFA）は、「JFA2005年宣言」の中で、世界のトップ10を目指すことを宣言し、その為にさまざまな取り組みを行ってきました。その結果、この10年20年の中では最も大きな進歩を上げた国の一つとして、日本が認識されています。

日本サッカーの成長のように、慶應志木サッカー部も成長しています。リーグ戦への参戦や学生コーチの増員など環境が強化され、そして何よりも、生徒たちの頑張りによって、平成25年に県大会出場、平成27年に県ベスト16に入り、先日行われた関東大会埼玉県予選で県ベスト8に入ることができました。また、これはOB会である野火止サッカー倶楽部からのご支援を頂いたお陰でもあります。

現在、サッカー部は3年生25名、2年生31名、1年生28名の合計84名で活動しています。公式戦は、関東大会県予選、インターハイ予選、選手権大会、新人大会があります。さらに多くの部員が試合経験を積めるように、A、Bの2チームがU18リーグ、1年生がU16リーグに参戦し、春、夏、冬には校外で合宿を行っています。

JFAの取り組みによって、サッカーはメジャーなスポーツとなり、今では小学校や幼稚園からサッカーを始めるのが当たり前となり、サッカーでの推薦入学や強化指定とする高校も多くなりました。志木高では、初心者が入部することもあり、幅広いレベルの選手がいます。スポーツ推薦や強化指定は当然ありません。その中で、さらなる高みを目指すには、日々「挑戦」の気持ちをもって練習に励み、チームとしても個人としても日々成長していくこと。その日々の成長を積み重ねること。その事を大切にしてもらいたいと思います。過去には県で準優勝したこともあると聞いています。いつか、この大先輩の偉業に「挑戦」してくれることを期待しています。最後に、この部活動を通して、すべての部員が人として大きく成長してくれることを切に願います。

文化部会NOW 第17回

電子工学研究会 部長 森山 徳之

電子工学研究会の活動は、ハッキリ言って非常に地味です。外での声を出しての運動や部活動全体で揃ったカバンがあるわけでもありません。運動会で点数カウント及びBGMを担当しているものの、やはりこれも見えません。残念ながら何をやっているのか見えにくく、わかりづらい部活なのです。

以前はアマチュア無線などを活動の中心としていましたが、近年ではハードウェアおよびソフトウェア制作を行っています。昨年度の収穫祭では、名前だけでも覚えて帰って頂きたかったので見えやすいもの、実際に触れられるものとしてエアホッケー台を製作しました。来場者及び在校生にその存在を認知してもらう良いきっかけとなりました。また、昨年度より各種大会及びコンテストへの出場に向けて精力的に活動しており、本年度はWRO（World Robot Olympiad）やU-22プログラミング・コンテストに出場予定です。彼らの本気に大いに期待しており、大会出場経験が電工研部員としての自信や誇りにつながるよう、活動を支援していきたいと思っています。

●●● クラブ戦績 ●●●

クラブ	戦績
体育部会	
硬式野球部	△第98回選手権埼玉大会 1回戦VS大宮武蔵野5-4 (延長10回)、2回戦VS九鬼工業2-6 △新人大大会 2回戦VS浦和学院4-11 (8回コールド) △秋季地区予選 1回戦VS与野9-1 (7回コールド)、代表決定戦VS埼玉栄3-1 △秋季県大会 2回戦VS花咲徳栄1-9 (7回コールド) △春季地区予選 1回戦VS川口青陵11-0 (6回コールド)、代表決定戦VS浦和西8-3 △春季県大会 2回戦VS埼玉平成3-5
競走部	H29 インターハイ予選 男子400メートル優勝 48秒14
卓球部	H29.1 団体戦 新人大大会県大会出場 (長妻、中野、野田、井上、山部、木下、小島、貝塚)
庭球部	H28 新人大大会 団体ベスト8
端艇部	H28年度慶應志木会賞受賞 (3年生9名) 関東大会〔神奈川県相模湖〕:3位 (M4X+) インターハイ県予選:2位 (M4X+A・M1X A), 3位 (M2X A) 県新人戦:優勝 (M4X+ A), 3位 (M2X A), 4位 (M1X B) 関東選抜大会(埼玉県戸田):2位 (M4X+) 全国選抜大会〔静岡県天竜〕:14位 (M4X+) 第86回早慶レガッタ:ブレーズ優勝 (M4X+) 第67回戸田レガッタ:決勝A組2位 (M4X+ A) 関東大会県予選:2位 (M2X), 4位 (M4X+ A・M1X) ※関東大会〔茨城県潮来〕出場決定 (全種目)
バレーボール部	H28年度 西部地区春季大会(準優勝) 1回戦2-0狭山経済 2回戦2-0和光国際 3回戦2-1川越 決勝0-2所沢北 関東大会埼玉県予選会 1回戦0-2川口北 インターハイ埼玉県予選会 1回戦1-2立教新座 六大学附属リーグ戦 最終順位3位 リベロ賞2位上田瑞貴 埼玉県私学大会 予選リーグ1-2西武台 2-0城西川越 順位決定戦0-2早大本庄 技術講習会1年生の部(通称1年生大会) 予選リーグ2-0立教新座 2-0川越南 決勝トーナメント0-2和光国際 選手権大会地区予選会 1回戦シード 2回戦2-1西武文理 3回戦0-2ふじみ野 代表決定戦1回戦0-2西武台 新人大大会地区予選会 1回戦シード 2回戦2-0城北埼玉 3回戦0-2坂戸西 代表決定戦2-1川越 埼玉県新人大大会 1回戦0-2春日部東 四地区選抜対抗戦西部選抜メンバー杉本好隆 山本龍弥 西部地区優秀選手表彰 有賀新 大森侑平
ホッケー部	H28.4 インターハイ1次予選 vs飯能南 1-7 vs皆野 3-1 vs聖望学園 5-0 H28.5 インターハイ2次予選 vs飯能南 2-3 vs聖望学園 4-1 vs皆野 6-0 H28.10 新人戦 vs聖望学園 5-0 vs飯能南 2-6 H29.4~5 インターハイ埼玉県予選 vs聖望学園 3-1 対戦相手・皆野高校 棄権 vs飯能南高校 0-10 vs皆野高校 25-0 vs飯能南高校 0-4 vs聖望学園 3-1
サッカー部	埼玉県新人大大会西部支部予選:5位 2回戦 4-1 坂戸西 3回戦 1-0 所沢北 準々決勝 0-1 狭山ヶ丘 5位決定戦 2-0 東野高校 関東大会埼玉県予選:ベスト8 1回戦 3-0 越谷西 2回戦 2-1 武蔵越生 準々決勝 0-2 正智深谷
バスケットボール部	H28.8 西部支部大会 優勝 H28.11 西部支部新人戦 優勝 H29.1 埼玉県新人戦 ベスト16 H29.5 埼玉県関東大会予選 ベスト8
ゴルフ部	関東アマチュアゴルフ選手権(ブロック予選) 長倉聖弥 72 3位 関東アマチュアゴルフ選手権(ブロック決勝) 長倉聖弥 76 45位 埼玉県Jrゴルフ選手権大会兼国民体育大会予選 長倉聖弥 73 6位 関東高等学校ゴルフ選手権埼玉大会(個人) 長倉聖弥 73 8位 金治有哉 131 108位 津田恵汰 115 98位 斎藤秀幸 127 105位 寺内 126 104位 関東高等学校ゴルフ選手権埼玉大会(団体) 上記5名 572 6位 関東高等学校ゴルフ選手権決勝(個人) 長倉聖弥 151 (2日間) 78位 関東Jrゴルフ選手権予選 長倉聖弥 74 7位 関東Jrゴルフ選手権 決勝 長倉聖弥 155 (2日間) 79位 関東高等学校ゴルフ選手権埼玉大会(個人) 長倉聖弥 74 5位 金治有哉 121 81位 津田恵汰 116 73位 斎藤秀幸 138 94位 寺内 137 93位 関東高等学校ゴルフ選手権決勝(個人) 長倉聖弥 154 (2日間) 47位 埼玉県プロゴルフ大会 長倉聖弥 72 1位
剣道部	浦和高校定期戦 1人残 (勝) 西部地区剣道大会(団体) 2回戦敗退 西部地区剣道大会(個人) 今野 4回戦敗退 森田・大谷 2回戦敗退 木村 1回戦敗退 関東大会予選(団体) 1回戦敗退 関東大会予選(個人) 森田・今野 2回戦敗退 インターハイ予選(個人) 木村・大谷 3回戦敗退 インターハイ予選(団体) 1回戦敗退 朝霞地区剣道大会 木村 優勝 江口 準優勝 近藤・森田 3位 第61回五大学付属剣道大会 5位 しらこばと杯争奪高校剣道大会 1回戦敗退 埼玉県私学大会 決勝トーナメント 1回戦敗退 第7回早慶高校対抗剣道試合 新人戦(負) 本戦(勝) 西部地区新人大大会 2回戦敗退 埼玉県剣道大会 大谷 4回戦敗退 江口 1回戦敗退 埼玉県新人大大会 1回戦敗退 柴田旗大野杯争奪剣道大会 1回戦敗退
スキー部	インターハイ県予選 GS 境 1位 宮木 24位 今村 DF SL 境 1位 今村 16位 宮木 21位 学校対抗 2位 群馬スキー選手権 GS 今村 45位 SL 今村 DF 国体予選 境 1位 今村 17位 埼玉県スキー選手権 GSL大会 今村 DF SL大会 境 80位 今村 99位 関東高等学校スキー大会 GS 境 18位 SL 境 9位 今村 DF 宮本 DF 全国高等学校スキー大会 GS 境 45位 SL 境 30位 国民体育大会冬季大会スキー競技会 境 49位 福島県スキー選手権大会 GS 今村 62位 SL 今村 DF SG 境 27位 DF 全国高等学校選抜スキー大会 境 SG 48位 GS 40位 SL 55位 上越国際カップSL競技会 今村 67位 58位 FIS菅平高原マックアースバインビークカップ SL 境 61位 DF FIS蔵王ライザジャイアントスラローム大会 GS 今村 75位 85位
ソフトテニス部	H28年度東京六大学附属高校大会個人の部1ペアベスト16進出 埼玉県新人大大会西部地区予選個人の部2ペアベスト64進出 埼玉県新人大大会団体の部県大会進出 埼玉県私学大会個人の部1ペアベスト32進出 H29年度関東予選埼玉県予選西部地区大会1ペアベスト32進出、1ペアベスト64進出、2ペア県大会進出
水泳部	学校総合体育大会 400m自由形 野田瑛太:決勝3位 200m平泳ぎ 足立翔:決勝5位 400m個人メドレー 野田瑛太:決勝3位 400mフリーリレー【八木・夏秋・野田・足立】決勝6位 800mフリーリレー【足立・八木・橋本・野田】決勝10位 400mメドレーリレー【橋本・足立・野田・夏秋】決勝10位 関東大会 400m自由形 野田瑛太:11位 200m平泳ぎ 足立翔:35位 400m個人メドレー 野田瑛太:決勝10位 400mフリーリレー【八木・夏秋・野田・足立】32位 国体予選 50m自由形 夏秋カミル:決勝9位 400m自由形 野田瑛太:決勝6位 100m平泳ぎ 足立翔:決勝6位 1:08.27 200m平泳ぎ 足立翔:決勝5位 2:25.15 200mフリーリレー【夏秋・足立・八木・野田】決勝6位 200mメドレーリレー【野田・足立・八木・夏秋】決勝6位 インターハイ 400m個人メドレー 野田瑛太:16位
空手部	関東高等学校空手道大会埼玉県予選 団体組手 緒戦敗退 インターハイ埼玉県予選 団体組手 第5位 埼玉県新人戦 団体組手 ベスト16 個人組手 ベスト32
文化部会	
器楽部	器楽部・2016年度成績 第57回埼玉県吹奏楽コンクール県大会《高等学校Bの部》金賞受賞 第22回西関東吹奏楽コンクール《高等学校Bの部》金賞受賞 第16回東日本中学校吹奏楽大会《高等学校の部》金賞受賞 第22回日本管楽合奏コンテスト全国大会《高等学校A部門(35人編成)》最優秀賞受賞 第9回埼玉吹奏楽コンクール新人戦 金賞受賞
ワグネル・ソサイエティー男声合唱団	第59回埼玉県合唱コンクール 銀賞 第28回埼玉県ヴォーカルアンサンブルコンテスト 銀賞

同期会 &OB会だより



8期 学年幹事一同

卒業（昭和33年）以来実に58年ぶりの同期会を俺達も一回やってみようかと気運が盛り上がったのが今から二年ほど前からでしょうか。何しろ58年間も同期会なる形で顔を合わせる事のなかった人たちの気持ちをどう掘り起こせるかがポイントでした。

同期会参加への動機として、今年は皆さんが喜寿を迎えられること、そして同期生と顔を合わせる機会がもてる喜びを一对にした開催であることを強調しました。まず、志木会会報「第36号」に「拝啓慶應義塾志木高等学校第8期生殿」の一文を掲載してもらい、同期会を計画中である旨を訴えかけました。次に、8月中旬「第一信」として、10月26日（水）ロイヤルパークホテルにて開催決定の通知を葉書で知らせました。そして9月中旬「第二信」を封書で参加を促しました。丁寧にコトを進めた結果、参加通知26名、不参加通知25名、住所不明15名、さらに逝去された方が22名いることが判明しました。

さて、当日（平成28年10月26日）を迎えました。東京近郊はもとより大阪・兵庫・静岡・名古屋からの参加が予定されていたので、幹事4名は早めに会場に行き受付で待機していました。驚いたことに、定刻午後1時には26名全員が揃いました。びっくり・ポンです。

大須賀君の総合司会でスタート。まず逝去された22名の方々に黙祷をささげました。志木会から拝借した三色旗が天井から棚引き、会の雰囲気も和やかにほぐれて皆さんの表情も昔にタイムスリップしたようでした。

アツという間の二時間でしたが、“次はいつやるんだ”ときいてくる人も多数ありました。最後に鶴田君の音頭で「若き血」を斉唱して散会となりました。

後日、幹事で打ち上げ会をやり、来年（平成29年）も同期会をやることに決めました。皆さん楽しみにしてください。そして元気で居てください。

8期 幹事 大須賀・磯部・品川・青木

11期

第92回遊志会ゴルフ大会をチェックメイトCCにて行いました。

優勝は細谷君、2位服部君、3位栗原君でした。

好天に恵まれ見事な富士山をバックに記念

写真。



後列左から佐久間勇、山本久方、森原孝夫、望月洋、川瀬忠夫、服部光伸、扇原浩志、栗原惇、前列左から馬淵祥宏、細谷勝庸、久保芳二、(12名)

11期 馬淵祥宏

16期

→ホームカミングデー開催期のため、p.17「ホームカミングデー報告」をご覧ください

20期 金子博志



20期

つくば市長を3期つとめ昨年11月に退任された市原さんの市長退任慰労会が12月9日に開催され年末の多忙な中16名が集まり

ました。富山から米田君、廣野君、群馬から田辺君らが参加してにぎやかな会になりました。市原君の市長時代の苦労話もあり、みんなの学生時代の話など大いに盛り上がりおりました。

http://www2u.biglobe.ne.jp/~shikikai/20161209_20/index.html

また恒例の同期会が2月15日に六本木で開催されました。開始時間が遅かったのですが30名の方が集まりました。会場の関係で集合写真などが撮れませんでした。

スナップ写真を下記にアップしてあります。

http://www2u.biglobe.ne.jp/~shikikai/20170215_20/index.html

今年は志木高へ入学してから50年目の年になります。当日参加された方々からぜひ記念の同期会をという声が出ました。秋ごろに企画をしたいと思っております。決まりましたらご案内させていただきます。皆様の参加をお待ちしております。

22期

22期 同期会を2018年(平成30年)3月に開催する予定です。2014年(平成26年)3月に還暦同期会と称して、帝国ホテル地下の三田クラブにて卒業後3回目の同期会を開催し、約88名が参加して旧交を温めました。一番遠かった参加者はチューリッヒから大村君、国内は鹿児島から石原君、福岡から吉岡君、札幌から福田君が参加されました。次回は5年後との話しでしたが、5年は長すぎるとの同期の意見もあり、2018年(平成30年)3月に繰上げ開催することにしました。この

会報を見た同期がひとりでも多く参加することを願います。案内は新年に郵送しますので、参加よろしくお願ひします。

22期 深澤 澄

28期

平成29年5月13日18:30より、東京ドームホテル43Fアーティストカフェにて8年目を迎えた28期同期会が開催されました。当日は生憎の雨模様でしたが、東京勤務になられた初参加の大池真人氏(D組)鍵山佳久氏(D組)を迎え総勢33名で大いに盛り上がり、語り合い、斉藤陽一リーダー長(A組)の下、若き血とエールでお開きになりました。

今回ご出席頂いた方々、また残念ながらお会いできなかった方々も、次回の同期会でお会いできます事を楽しみにしております。

今回会場設定にあたりご尽力頂きました後楽園健康保険組合 幸山竜哉氏(B組)また取り纏めをして下さった学年幹事の伊能重雄氏(A組)、池田欽哉氏(D組)に改めて御礼申し上げます。

来年平成30年3月24日(土)には卒業40年の記念行事として我々28期生が志木高の卒業式に招待されます。28期の皆様でメールアドレス未登録の方は今後のイベントのお知らせの為に是非info@keio-shikikai.jp 気付28期大館宛に、メールアドレスをお知らせください。現在約150名の登録を頂いておりますが、更に輪を広げたいと思っております。同期の方の消息、情報をご存じの方、また、皆様の近況報告等もお寄せ下さい。

28期 大館 信



29期

「志木高出身の指揮者の石坂宏です。」このゴロ合わせの自己紹介で唯一拍手をいただけるのが、強志会の集まりである。5月28日青山サニーテラスに少し遅れて顔を出したときは、誰ともつかぬ男たちの背中にたじろぐ。だが次第に40年前の記憶と面影が一致してくると自然に顔もほころんでくる。10代のピュアーでヤワな感情が蘇ってくる。利害関係で決して人を判断しなかった、何か思惑を持って発言などしなかった、世の中に打算というものがあるなんて考えもしなかった、海とも山ともわからぬものに立ち向かっていた時を共有した、かけがえのない友人たち。彼らの近況報告に自分の来た道も思い起こし、次第に心地良く酔いも回って、締めに応援指導部OBのA君のリードで若き血を歌えば、

全身にもう若いとはいえないが血潮は再びめぐり、一年間生きててよかった、慶應にお世話になってよかった、そう心から思って家路について石坂宏は、指揮者で志木高出身です。

29期 石坂 宏

31期

開催日時：平成28年10月15日 15：30～
18：00

開催場所：JBA Bar 洋酒博物館（東京都中央区銀座6丁目）



前任の曄道君（現上智大学学長）から引継ぎ、代表幹事となってから約8年間、仕事の忙しさや名簿の不備を理由に同期会開催を躊躇していましたが、Facebookで「友達」の皆様から、同期会開催の多数の熱い要望が投げかけられ、一念発起、開催する運びとなりました。

まずは、開催日程の決定から。東京近郊以外から来られる方々を考慮し、連合三田会の前日に設定。参加者の募集では、現在連絡先が判明している方々を起点として体育会テニス部、ラグビー部、バスケットボール部及び野球部の方々に拡散頂くと共に、志木会にも協力頂き、最終的には31名の参加となりま

した。

会は物故者への黙祷の後、お酒が入ると一瞬にして高校時代の「仲間」に逆戻り、思い出話に花が咲き、持ち込まれた「卒業アルバム」で皆の進化？（変化？）に大爆笑。あっという間に楽しい時間が過ぎていきました。

会の最後は野球部・松本君名物のエールとリードにて「若き血」の大合唱で締めくくりました。皆様のご協力により楽しい会を開くことが出来て大変感謝しております。

こんなに飲んでいただけるなら、また会の開催を企画します。

31期 荻田健之



部活動 野火止会(バスケットボール部)

バスケットボール部に所属する現役諸君、その父母の皆様、そしてOB会である野火止会が、毎年3月の卒業式前後に、「三送会」（三年生を送る会）を催しています。

気持ちよく晴れた3月19日、体育館で汗を流し、お弁当をいただいた後に、現役チームのキャプテンが司会となって会を進めました。今年の卒業生は、出場した全ての大会で埼玉県ベスト8入りを果たし、安定した強さを見せてくれた素晴らしいチームです。

記念品の贈呈や下級生からのメッセージを

受けて、最後に卒業していく三年生が一人ひとり素晴らしい挨拶で締めくくってくれました。

三年間の成長をひしひしとを感じるこの瞬間、毎年涙あり、笑いありの、特に現役諸君にとってはかけがえのない思い出となるイベントとして、10年以上続く良き「伝統」となっています。

野火止会では、創部55周年を迎えた今年

の11月に記念のイベントを企画しており、世代を超えて準備を進める中で、より一層結束を強めていきたいと考えています。

高い目標に向かって果敢にチャレンジをする現役諸君を、より一層しっかりとサポートすべく、引き続き活動していきます。

41期 平賀敦巳

第3回 志木マスターズ開催報告

去る平成28年11月3日(木・祝)、東千葉カントリークラブにて〈志木マスターズ〉が開催されました。

〈志木マスターズ〉は、志木高の全OBを対象としたゴルフコンペとして平成26年より開催され、今回で3回目を迎えております。

第1回から3年連続で出場いただいております龍田元教諭をはじめ、今回は15期から45期まで幅広く、総勢68名の参加となりました。

今回、見事優勝の栄冠を手にしたのは、22期久保雅司君。何と2年連続の制覇となり、その実力を証明されました。おめでとうございます。

他、表彰式では、松下賢次志木会会長より数々の賞と豪華な景品が手渡され、終始盛り上がりながらの楽しい会食タイムとなりました(改めまして、ご協賛をいただきました皆様、この場をお借りして御礼申し上げます)。

そしてラストは応援指導部OB、45期星川大輔君のエールの下、一同「若き血」で締めくくりました。

次回第4回も11月3日(金・祝)に開催予定です(詳しくは次ページをご覧ください)。

気の置けない同期、先輩後輩などなど、ぜひ1人でも多くの方にお声かけいただき、ご参加いただきたいと思います。

また今回は、奥様にもお2人ご参加いただきました。有り難うございました。引き続き、奥様はもちろんお子様などご家族のエントリーもお待ちしております。

これからも、志木高ならではの素晴らしい雰囲気ゴルフコンペとして行ければと思います。よろしく願いいたします。

第4回 志木マスターズのご案内



志木会会長 松下 賢次 (21期)

皆様お元気でお過ごしでしょうか。今年も、志木マスターズゴルフを開催する運びとなりました。年々参加の皆さんが増え、益々盛り上がる志木マスターズゴルフですが、今年も昨年続き東千葉カントリークラブでのプレーとなります。

第4回大会へのご参加をお待ちしています。小生今年優勝を狙い練習しています。(野望だけは尽きることがありません) 11月3日にお会いしましょう。

開催概要

■開催日時：平成29年11月3日(金・祝日)

TEE UP→7:52～8分間隔スタート(西コース OUT IN 各10組)

※開会式は行いませんので各自のスタート時間に遅れないようにお越しく下さい。

■開催場所：東千葉カントリークラブ

<https://www.orix-golf.jp/higashichiba/index.html>

〒283-0825 千葉県東金市滝503

TEL: 0475-54-2681 / FAX: 0475-55-1480

アクセス：車→千葉東金道路・圏央道東金ICより2km

電車→JR外房線大網駅よりタクシー約20分

■参加会費：約¥25,000-

セルフカート付、昼食、パーティー代、コンペ会費含む

※パーティー代を含むコンペ会費¥3,000のみ受付デスクにてチェックイン時に徴収、その他は個人精算とさせていただきます。

■競技方法：新ペリア方式(同ネット順位 1.年齢 2.ハンディ)

スルーザグリーンノータッチ、グリーン上ワングリップOK

その他ローカルルールに従ってください。

■表彰内容：★ベスト5 優勝 20K 準優勝 12K 第3位 10K 第4位 7K 第5位 5K

★飛び賞 10・20・30・40・50・60・70位 各3K

★会長賞 7位

★ドラコン&ニアピン各4本・計8本 各2K

★ベスグロ 3K

★BB 3K

★その他当日賞品に応じてお楽しみ賞あり

※上記表彰内容は変更になる場合がございます。

■ドレスコード：ジャケットの着用をお願いいたします。

カーゴパンツ、ジーンズ、Tシャツ、サンダル等でのご来場はご遠慮下さい。

■申込先：E-mail: golf@keio-shikikai.jp



16期ホームカミングデー報告

16期 近藤 隆夫

昨秋の収穫祭初日、卒業50周年を迎えた16期生はホームカミングデーに招待されました。

50名弱もの参加者があり、会場のそこかしこで数十年振りの再会を懐かしむ輪が広がりました。あっという間の2時間が過ぎ中庭での記念撮影後、解散して



各々校内散策、親しい仲間との二次会等へと流れて行きました。志木駅立教側の居酒屋・土風炉での昼酒には15名もの数寄者が居た由で、おおいに会話が弾んだと聞いております。

16期同期会の「志世会」は、月例会を毎月第4木曜日18時より秋葉原・万世本店地下の「呉越同舟」で開催し、自発的お世話役の同期が必ず複数名同席して過去8年欠ける月もなく継続しております。在学時に声掛けの機会の無かった人達が予約無しで出席、改めて杯を酌み交わし旧知の様に語り合う場面が日常的に発生しております。尚10月の月例会は年次志世会として開催しており、今年10月26日(木)18時より三田キャンパス「ファカルティクラブ」で開催の予定です。資金難の為、今年より往復ハガキ連絡は停止し、電子メール案内のみとなりますが、是非多数ご出席頂けるようお願いする次第です。又、1月例会は新年会として今後は三田仲通り「湯浅」にて開催予定、春秋のゴルフ会も定例化しておりますので、詳細は毎月第3金曜日発信の「慶應志木会メールマガジン」の16期記載欄をチェック頂ければ幸いです。

17期/42期 ホームカミングデーのお知らせ♪

今回で12回目を迎えますが、収穫祭の1日目に卒業25周年および卒業50周年の方々をお迎えして、合同ホームカミングデーを開催いたします。

懐かしい教員の方々、志木会会員の皆様との懇親を中心に簡単な立食パーティーを行います。17期&42期のみなさまはお誘いあわせの上、奮ってご参加下さい。

日 時：平成29年10月28日(土) 12:00～

場 所：志木高3階 会議室

会 費：無 料

申 込：出席ご希望の方は志木会事務局までご連絡下さい





収穫祭のお知らせ

生徒会収穫祭実行委員会 委員長
田中 隆太

皆さんこんにちは。第70回収穫祭実行委員長になりました田中です。

今年のテーマは『Animarsary (アニマーサリー)』です。野性的で雄々しい志木高生を意味した「animal」と今年70周年を迎える収穫祭の「anniversary」を掛け合わせた造語です。田舎だとかネタにされがちな志木高ですがそれを逆手に取って「志木高生でよかった?」と思えるような志木高ならではの楽しい収穫祭にしたいと思ってます。

自分は今年の公約として「みんなで仲良く気持ちよく」を掲げました。それを実現すべく例年にまして精一杯活動していきますので、今年度の収穫祭実行委員の応援をよろしくお願いします。

<慶應志木会より>

本年の収穫祭は10月28日(土) 29日(日) に開催されます。

詳細は志木高ウェブサイトか志木会メールマガジンをご覧ください。

志木会オリジナルグッズのご紹介

同窓会への出席、同期会での景品など、志木会オリジナルグッズをぜひご利用下さい。

ゴルフボール、ニットタイ (右写真)、マフラー (左下)、ラベルペン、ゴルフマーカー、折りたたみ傘などがございます。写真や詳細は志木会ウェブサイトをご覧ください。

購入希望の方は、品名、数量、氏名、住所、電話番号、メールアドレスを志木会事務局まで連絡ください。代金の振込先と

合計金額と送料をご連絡い

たしますので、入金が確認出来次第品物をお送りします。

なお、数量に限りがありますので売り切れの際はご容赦ください。また複数の品物をご希望の場合には割引価格を適用します。



志木会事務局メール : info@keio-shikikai.jp
TEL 048-471-1959 FAX 048-471-1974

～大館名誉教諭の逝去について～

既にメールマガジン、及び本紙冒頭にて周知の通り、平成29年1月8日、慶應義塾志木高等学校名誉教諭の大館清次君が逝去されました。本号では、『志木高30年』に収録された「志木で過ごした三十年」を再録し、哀悼の意を表します。

1月8日13時48分頃老衰のため。享年88歳。

昭和23年～平成5年、志木高在任。生物・理科教諭。

野球部部长、應援指導部部长。

慶應志木会

志木で過ごした三十年

慶應義塾志木高等学校 教諭 大館 清次

戦後、慶應義塾は幾多の難局に直面したがその都度、社中協力してそれをのり越えて来た。ここ、志木の土地も施設もすべて、電力会の大御所であられた故松永安左エ門先輩のご寄付によるものである。

福澤先生の実学の精神を旨として、従来の日本の農業経営の矛盾点を是正し、新しい日本の農業形態はかくあるべしと、新指向の農学部を設置を夢見て、先ず農業高校としてスタートしたが、当時の世情の移り変わり余りにも激しく、塾としても理科系学部の増設は不可能となり、遂に当初の目標は反故となってしまった。しかし、6町歩に及ぶ農牧場を利用して“自ら労して自ら喰らう”、人生独立の根本を生徒たちに体験させたことは、大いに意義があったと確信している。

私が獣医畜産科の学生として指導教授田村泰成教授について、はじめて志木へ来たのは昭和22年12月、20歳の時であった。

以来、本校歴史30年のうち、前半の約15年は、生徒と共に農場へ出ての晴耕雨読の毎日であった。一粒の麦を作るにも、如何に多くの労力が必要とされるか、そしてそれはまた何と素晴らしい営みであるのかということ、作物や家畜の管理に際して、今日施してやったことが、明日結果となって現れはしなくとも、3カ月先か半年先か、特に家畜に於いては、幼時期の管理が2年、3年先になってその効果を現わすことが決して少なくないということ、また自然は正直であって我々が心をこめて接すれば、必ず収穫時にお返しができること、更に自然界ではすべてのものが密接な繋りをもって生活しており、自分も人間という一個の生物としてその循環の中に組み込まれているのだという認識、等々……農場実習から得た教訓は数え切れぬ程である。生徒と共に厳寒の中、凍てつく土に開墾の鋤を振り、或いは照りつける真夏の太陽の下で、背丈程にも伸びた雑草と闘いながら、指導に当たっているとは言うものの、むしろ彼等と共に学び、共に感じる事が出来たのは、若い私にとって何よりの倖せであった。

39年、それまで度々話題となっていた都市計画路線が愈々実現され、構内を16米道路が貫通す

ることになった。校舎の移築、学園の整備計画に伴って農牧場は閉鎖され、グラウンドやコートに姿を変えて、生徒の新しい鍛錬場となった。

後半の15年は、37年より建設された寄宿舎の初代舎監として、生徒の24時間に亙る生活をお預かりすることになった。

高校生を対象とした寄宿舎は当時としては全国にも余りその例がなく、テストケースとして注目された。人間形成上で一番大切な、そして多感な時期の子供達をお預かりする私は、その責任の重大さに身の引き締まる思いであった。子供達もそれぞれの個性がどうであるのか、また、何が自分の才能であるのか、判然としない時期である。この年代の子供達に接するわれわれは共同生活を経験させるうちに、一人一人の個性を覆っているベールをはがし、個々の人格を尊重しながらその形成の手助けをしてやり、将来、社会に適応出来る人間に導いてやらねばならない。また、持てる才能の発見につとめ、それを磨いて社会に役立たせることの出来るよう自信と勇気を与えてやらねばならない。それには寄宿舎は、まことにうってつけの生活指導の場であった。そこには教室では見られぬ子供たちの素顔がある。彼等と同じ釜の飯を食い、一緒に風呂に入って文字通り裸のつき合いをしている中に、思い掛けぬ彼等を発見することしばしばであった。元来、塾生の家庭の多くは堅実で、躰も良く、素質にも恵まれた生徒が大部分であったから、実際には大した苦労はなかった。ただ、これまで様々なペースで暮らしていたわけであるから、自由とは言え、勝手な生活をされては困る。そこで共同生活を営むための最少の規程を設け、それだけは厳守するよう指導した。即ち、いつも相手の立場になって考えること、他人（ひと）に迷惑をかけぬよう、わがままを抑え全体の中の個としての自覚を持たせることに力を注いだ。舎生達はちょうど高度経済成長の時代に育っている。あり余る物の中で育ち、ぜいたくに馴れた彼等にとって少々不自由な寄宿舎生活は、人生の貴重な経験になったと思う。また多くの者は、その中で生涯の友を得たようであった。

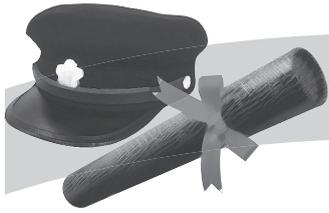
私の尊敬する塾医学部の加藤元一教授は、その著書『科学者の歩める道』の中で“仏師は自分の彫った仏像をやがては拝む心境になる。教育者は仏師を以って任ず可きである。長い教員生活の中での私の何よりの倖せは、拝むに足る弟子達に恵まれたことだ”という意味のことを言っておられる。私なぞ加藤教授の足元に及ぶ可くもなく、また大学の教師と高校の教師とでは、おのずからその役割も異なると思うが、生徒に対する心は同じであると自負させて頂いている。

農場生活15年、舎監生活15年の志木の30年間を通じて私が得たものは、子供達が大学に進み、或いは社会に出て、立派な仏師に巡り合った時、刻んで頂くに足る素材に育っていてくれるよう、せめて彼らの肥料になろうという信念と、実際に我々教師をのり越えて見事に成長してくれた大勢の可愛い卒業生達とである。そして愛する母校慶應義塾の中で、しかも常に若い後輩達と一緒に、生涯の大半を過ごす事の出来る我が身の倖せをつくづく有難いと思うこの頃である。

編集部註：本文の名称、役職等は原典収録当時のママとしています。ただし、横書き化に伴い、漢数字のアラビア数値化、および踊り字の修正を行っています。



▲大館名譽教諭。生徒達と共に



「卒業40周年」

27期 金森 悟

平成29年3月24日(金) 平日の午前10時から、母校の卒業式に招待いただいた。卒業から40年。来年には還暦を迎えるのであるから、母校を旅立ってから、人生の約3分の2が経過したことになる。40年ぶりに再会した仲間、ニューヨークから仕事を作って参加した「竹林」、なんだかんだ毎年、ちょこちょこあっている仲間約30名が集った。卒業式会場の体育館。入学式、卒業式、毎年の収穫祭、体育の授業などなど思い出がびっしり詰まった場所は、昔のまま。当時流行った「水爆」は、飛ぶことはなかったが、心はあつというまに40年前に飛んだ。三々五々集まり、校庭を散策。前から歩いてきた年寄り風のおじさんから、「卒業生の方ですか？」と聞かれて、何と同期の「桐岡」。仲間と何度も何度も、校庭に足を運び、寮のあったところにはマンションが。プールの屋根が無くなり、立派な部室&トレーニングルームにびっくり、食堂では、食券自販機のメニューを見て、当時はあーだこうだ……。野火止用水で泳いだこと、このあたりで野球部、ラグビー部、サッカー部が練習し、体育祭はこのあたりで……。あの塀の向こうが、大館元教諭、建部元教諭、三谷元教諭の自宅だった……。当時たくさんとれた柿は、今は?? などなど、話題は尽きない。教員室の上の会議室で、懇親会をした。「そんな部屋あったか??」……ご縁もなく、足を運ぶことのなかった建物の上にこんな場所があり、喫煙コーナー完備。掲示板には、「訓告」、「停学」の張り出しはなく、今は一発停学とか?? 卒業式で、父兄が来ていたこともあり、懐かしの煙でもくもくのトイレは、「女性用トイレ」に。懐かしの現場検証は叶わなかった。

平日の昼間の卒業式に参列できなかった仲間からは、「せっかくの機会なので夜も集まろう！」と都内の竹橋の「赤坂飯店」という中華料理屋へ場所を移して、仕事帰りの仲間も合流。4時半頃から飲み直しが始まり、午後9時半頃に、医学部長になった岡野が登場。飲み足りない、無理やり、パレスホテルの役員の「渡部政和」にバーの席確保を指示。静かなバーで、大声で騒いだら、4月からの政和の昇進が没になるのではないかと心配するほどの盛り上がり。終わったのは、0時を回り、解散となった。

朝から最後まで、なんとステキなタイムトリップであったか!!

志木高の仲間は、人生の財産である!!



平成28年度 卒業後40年招待 第27期生 慶應義塾志木高等学校 2017年3月24日

平成28年度慶應志木会 収支報告書（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

単位：円

収 入		支 出	
摘 要	金 額	摘 要	金 額
前 期 繰 越 金	18,440,646	会 報 費	2,354,400
維 持 会 費	2,626,000	会 議 費	395,482
新 入 会 費	1,610,000	式 典 費	90,000
物 販 収 入	361,844	交 際 費	259,886
役 員 会 幹 事 会 会 費	207,000	通 信 費	34,185
寄 付 金	0	事 務 費	406,130
預 金 利 息	795	事 業 費	402,682
		パ ソ コ ン 関 連 費	238,187
		会 費 返 却	10,000
		収 穫 祭 寄 付	300,000
		卒 業 式 寄 付	300,000
		卒 業 生 記 念 品 ・ 志 木 会 賞	471,960
		手 数 料	15,376
		物 販 費 用	746,692
収 入 小 計	4,805,639	支 出 小 計	6,024,980
		次 期 繰 越 金	17,221,305
合 計	23,246,285	合 計	23,246,285

預金残高明細（平成29年3月末現在）

単位：円

(銀 行)	(種 別)	(適 用)	(管 理)	(残高金額)
埼玉りそな	普通	入会金	金 森	6,424,128
りそな	普通	一 般	金 森	727,631
郵便局	振替	会費口	金 森	270,815
三井住友	普通	小 口	天 野	1,274,813
郵便局	普通	会費口	竹 内	7,713,130
埼玉りそな	普通	小 口	竹 内	800,788
郵便局	振替	パーティー会費	金 森	10,000
りそな	普通	寄 付	金 森	0
合計				17,221,305

監査報告

慶應志木会会則第18条に基づき、平成28年度（平成28年4月1日～平成29年3月31日）の会計監査を実施いたしました。その結果、会計処理につきましては適正に処理されていることを此処に承認します。

平成29年5月23日
 監 事 原 田 薫
 監 事 増 山 治 一 郎

慶應志木会 役員・幹事・クラブ幹事

■役員■

名誉会長	高橋 美樹 (校長)	事務局幹事	坂上 隆彦 (23期)	総務担当
会長	松下 賢次 (21期)		宇野 宏 (35期)	総務担当
副会長	宮橋 裕司 (主事)		大澤 宏樹 (35期)	企画担当
	金子 博志 (20期)	情報管理・広報担当	矢下 健二 (35期)	企画担当
	金森 悟 (27期)	財務・企画担当	天野 徳雄 (36期)	財務担当
	大館 信 (28期)	総務担当(兼事務局長)	田内 久晴 (37期)	企画担当
幹事長	内山 洋一 (21期)		大久保佐太郎 (55期)	広報担当
副幹事長	相田 英文 (29期)		会計監事	原田 薫 (15期)
事務局長	大館 信 (28期)	兼務		増山 治一郎 (17期)

■顧問■

顧問	櫻井 英太郎 (1期)	龍野 和久 (1期)	宮田 勝 (5期)	多田 毅 (7期)
	五老 輝彦 (9期)	品川 雅貴 (12期)	本橋 重夫 (15期)	鹿野 元章 (16期)
	西村 孝一 (17期)	中村 弘司 (23期)	山崎 嘉正 (26期)	
特別顧問	阪東 宗文 (16期)	増山 治一郎 (17期)		

■幹事■

期	卒業年	幹事									
1	S.26(1951)年卒	藤井 淳	松本 仙太郎								
2	S.27(1952)年卒	遠山 正秀	忽滑谷 岱司								
3	S.28(1953)年卒	品川 仁	菅野 光男								
4	S.29(1954)年卒	藤岡 民良	高橋 公郎	伊藤 金次郎	三浦 靖夫						
5	S.30(1955)年卒	寺嶋 延行	小林 石三	関山 清							
6	S.31(1956)年卒	真野 信裕	松本 福太朗	茂木 光義	梅澤 勉						
7	S.32(1957)年卒	熊崎 順次郎	鈴木 正治	渡辺 正							
8	S.33(1958)年卒	青木 宏至	品川 宗弘	大須賀 均	磯部 和宏						
9	S.34(1959)年卒	五老 輝彦	佐々木 弘暢	荒井 浩							
10	S.35(1960)年卒	馬場 紘二	斉藤 彰	細井 延昭	吉川 忠裕						
11	S.36(1961)年卒	馬淵 祥宏	森原 孝夫	菅谷 正樹	西 光由	渋谷 哲男					
12	S.37(1962)年卒	川久保 達也	岡田 幸次郎	原田 雄介	並木 美和						
13	S.38(1963)年卒	清水 武寿	椎野 開八郎	山本 雄一	飯島 智						
14	S.39(1964)年卒	小林 好二	築山 正俊	三関 峻	奥村 捷興	佐久間 義雄	藤田 正壽				
15	S.40(1965)年卒	小笠原 準一	倉田 伸二	深瀬 啓司							
16	S.41(1966)年卒	緒方 信次	恩田 博司	近藤 隆夫							
17	S.42(1967)年卒	荘 敬典	北村 基樹	前嶋 晶廣	野村 真	中村 康二	川鍋 二郎				
18	S.43(1968)年卒	伊藤 博行	黒田 豊	徳永 良							
19	S.44(1969)年卒	中西 廣策	鈴木 基晴	齋藤 治雄							
20	S.45(1970)年卒	中 一弥	杉 雅俊								
21	S.46(1971)年卒	飯島 敏一	福地 敏之	折登 泰樹	小林 哲男	森 光太郎					
22	S.47(1972)年卒	金子 康雄	櫻井 造雄	三木 哲郎	深澤 澄	江夏 雄二	増田 裕				
		城 克	深井 昭								
23	S.48(1973)年卒	夏目 雅	梅澤 由起	森田 榮一	三義 英一						
24	S.49(1974)年卒	赤木 均	島影 幸有	田沼 潔	京本 修						
25	S.50(1975)年卒	小川 洋	高橋 宣行	島田 徹							
26	S.51(1976)年卒	山田 純男	船山 剛	小池 雅澄	善木 達明	澤田 尚史	中川 龍士				
		渡辺 規人	萩原 弘幸								
27	S.52(1977)年卒	鬼頭 真一郎	永井 利宗								
28	S.53(1978)年卒	伊能 重雄	池田 欽哉	南村 讓治							
29	S.54(1979)年卒	鳥羽 克治	清重 利昌	池上 忠嗣							
30	S.55(1980)年卒	岸田 一男	原田 仁敦	佐藤 正人	新 隆文						
31	S.56(1981)年卒	萩田 健之	福島 聡	布施 浩之	梶原 靖友	内匠屋 健					
32	S.57(1982)年卒	町野 素久	横江 資友	梅田 幸彦	鈴木 厚	伊勢 学					

33	S.58(1983)年卒	小玉 裕	河野 潔	青木 勝	本多 関雄		
34	S.59(1984)年卒	大内 正博	山下 孝	古長 玄一郎			
35	S.60(1985)年卒	須佐美 文忠	昌谷 健司	岩瀬 克也	永原 圭司	坂井 琢磨	
36	S.61(1986)年卒	阿部 元雅					
37	S.62(1987)年卒	鍋島 康友	永田 博詳	植島 博之	原田 純一		
38	S.63(1988)年卒	知久 康成	中里 栄基	金子 隆則	荒瀬 光宏		
39	H.1(1989)年卒	丸山 和紀	田中 浩樹	大西 重夫	鈴川 智徳		
40	H.2(1990)年卒	井上 晴生	税所 篤史	甲斐 正英			
41	H.3(1991)年卒	柏木 徹	三田 貴良	須田 光貴			
42	H.4(1992)年卒	安 重煥	小島 圭	御山 義明	大澤 康算		
43	H.5(1993)年卒	藪原 一暁	高松 智之	田口 鍊			
44	H.6(1994)年卒	宮田 真詩					
45	H.7(1995)年卒	若松 洋雄	小山 一	小川 圭			
46	H.8(1996)年卒	谷口 剛	川崎 聡				
47	H.9(1997)年卒	小寺 俊且	谷 嘉康	森 茂之	西本 祥仁	濱岡 勇介	小林 圭
48	H.10(1998)年卒	亀山 雄高	黒川 真行	寺西 富広			
49	H.11(1999)年卒	石川 快	廣江 安彦				
50	H.12(2000)年卒	高岡 功	徳田 征之	小林 敬英	齋藤 収		
51	H.13(2001)年卒	石井 強太	森川 渉	浅岡 良彦	治田 和明		
52	H.14(2002)年卒	毛呂 淳一朗	渡邊 慶太郎				
53	H.15(2003)年卒	森岡 多門	林 憲				
54	H.16(2004)年卒	塚本 大夢	中川 雅之				
55	H.17(2005)年卒	池端 俊太	小泉 貴史				
56	H.18(2006)年卒	大久保 匠馬	若林 隆晃	横澤 慶太			
57	H.19(2007)年卒	和田 亮	時田 亜希夫				
58	H.20(2008)年卒	宮山 明	佐藤 友紀				
59	H.21(2009)年卒	箱崎 勇人	本多 清礼				
60	H.22(2010)年卒	岡田 哲哉	中込 健太	工藤 雄太	松井 洋	古川 創一	
61	H.23(2011)年卒	井上 裕紀	富澤 直嗣				
62	H.24(2012)年卒	荒木 謙人	岡本 尚之	加藤 将平	椎名 翔平		
63	H.25(2013)年卒	星野 真瑠也	星野 宏太				
64	H.26(2014)年卒	市川 広大	巽 祐一	池上 太悟	亀倉 玲	森 大和	
65	H.27(2015)年卒	秋田 雅信	友野 雅樹				
66	H.28(2016)年卒	小林 翔	恩田 真希				
67	H.29(2017)年卒	菱刈 太一	本間 健太郎	大森 脩平	堀内 悠生		

■ クラブ幹事 ■

硬式庭球部	田中 真介 (17期)	硬式野球部	小川 光二 (17期)	卓球部	浅生 潤 (23期)
バレー部	進藤 英典 (23期)	ホッケー部	菅野 芳哉 (29期)	弓術部	小宮 雄造 (30期)
バスケット部	木村 尚敬 (37期)	バスケット部	平賀 敦巳 (41期)	サッカー部	中村 直人 (38期)
スキー部	渡辺 一仁 (51期)	枇杷の会	深瀬 啓司 (15期)	鉄道研究会	滝上 紘之 (52期)
ワグネル	山浦 元気 (61期)	ワグネル	南 琳太 (61期)	軟式テニス部	枇々木 規雄 (34期)

< 訃報 >

河邊 勝利君 (2期)
 謹んでご冥福をお祈りいたします

編輯後記

今年も無事、会報を発行する事が出来ました。原稿をお送り戴いた皆様、どうも有り難う御座いました。
 志木会も毎年新規に卒業生を迎え、またクラブ幹事もその人数を増やしつつあります。ということで、この奥付エリアも毎年高さを狭めているところ、嬉しい悲鳴です……。

(さたらう)

慶應志木会会報 2017 ● Vol.37

編輯・発行 慶應志木会 (慶應義塾志木高等学校同窓会)
 〒353-0004 埼玉県志木市本町4-14-1
 Tel. 048-471-1959 (志木高内)
 発行人 松下賢次
 発行日 平成29年7月15日
 印刷 (株)精興社
 ウェブサイト <http://www.keio-shikikai.jp/>
 電子メール info@keio-shikikai.jp